

Affiliated with the International Association
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOUJI
Chartered October 30, 1994



〒192-0911
東京都 八王子市打越町 334-2-5-201
花輪 宗命 TEL : 090-2213-0257
Fax:042-636-6157
E-mail : hanamate@rk9.so-net.ne.jp

2023年6月

The Service Club of The YMCA

第336号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会長	花輪 宗命	国際会長 ウルリック・ラウリドセン (デンマーク)
副会長	茂木 稔	主題 「輝かそう、あなたの光を」
書記	久保田 貞視	スローガン 「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」
会計	長谷川 あや子	アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen 主題:「新しい時代とともに エlegantに変化を」 スローガン「今すぐ実行を」
直前会長	山本 英次	東日本区理事 佐藤 重良 (甲府 21) 主題:「未来へ向けて今すぐ行動しよう」
担当主事	菅野 牧夫	スローガン「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを！」
ブリテン	山本 英次 茂木 稔 大久保 重子	あずさ部部长 後藤 明久 (富士五湖) 主題「ワイズへの参加と交流を楽しもう」 八王子ワイズ会長 花輪 宗命 主題「感謝と報恩奉仕」

6月例会プログラム

(担当:A班:菅野、小口、佐藤、長谷川)

日時:6月24日(土) 18:00~20:00

会場:子安市民センター3階 調理室 **注:今月のみ開催**

(JR 八王子駅より徒歩8分)

所在地 八王子子安町2-6-1 TEL 042-646-4321

受付:小口メン、長谷川メン 進行:佐藤メン

開会点鐘 花輪会長

ワイズソング 一同

ワイズの信条 一同

ゲスト・ビジターの紹介 花輪会長

聖書朗読・食前の感謝 小口メン

会食

卓話「バングラディッシュ YMCA を訪問して~今後のパートナーシップに向けて」

東京 YMCA 国際・総合教育事業部統括 松本 数美氏

東京 YMCA 報告 菅野担当主事

報告・連絡事項 会長・各委員

スマイル(東京 YMCA 国際協力募金に) 長谷川メン

Happy Birthday 花輪会長

閉会点鐘 花輪会長

巻頭言

第26回東日本区大会

次期会長 並木 真

6月3~4日、山梨県甲府市 APIO 甲府にて、東日本区53クラブ、西日本区9クラブ総勢288名のワイズメン、メネットが集い、4年ぶりのリアル開催の第26回東日本区大会が開催されました。

クラブから花輪会長、長谷川さん、久保田さん、久保田メネ、小口さん、菅野さん、私の7名が参加しました。

先月の例会ポイント (5月)

在籍	12名	切手	0g
		22~23年度	計1698g
メン	9名	現金	0円
メイキャップ	1名	累計	0円
出席率	83%	スマイル	0円
メネット	0名	累計	106,650円
ゲスト	1名	オークション	0円
ビジター	2名	累計	0円
ひつじぐも	18名		

今月の聖句(2023年6月)

私は誰に対しても自由な者ですが、すべての人の奴隷となりました。より多くの人を得るためです。ユダヤ人には、ユダヤ人のようになりました。ユダヤ人を得るためです。律法の下にある人には、私自身はそうではありませんが、律法の下にある人のようになりました。律法の下にある人を得るためです。

(新約聖書・コリントの信徒への手紙一9:19~)

当日の朝、八王子は台風 2 号の影響で強い雨が降っていましたが、甲府に着くと雨も上がっていて、「さすが、ワイズメン！ 日頃の皆さんの行いのおかげだな。」と思



ました。会場に来られた皆さまは久しぶりのリアル再会で、あちこちで笑顔の花が咲いていま

た。オープニングセレモニーの山梨英和高校のハンドベルの演奏や聖歌隊の歌声に感動し、初めて見る圧巻のバナーセレモニーにまたまた感動。各クラブを紹介するアナウンスを聞きながら、それぞれのクラブの歴史を感じることが出来ました。居並ぶバナーたちの中で、当クラブの花輪会長は、しっかり最前列のど真ん中。さすがで



す。佐藤重良東日本区理事による開会宣言・開会点鐘で大会が始まりました。ご来賓の方々からのお言葉を頂きましたが、4年ぶりの大会を、お祝い下さるお言葉を沢山頂きました。

故人を偲ぶメモリアルアワーがあり、休憩を挟んで、理事報告、代議員会報告、部長報告、事業主任報告と今期の活動などの報告が行われましたが、代議員会報告では、大会前に開かれた「年次代議員会」で議長を務められた長谷川さんが、堂々と報告をされました。さすがで



す。とても楽しみにしていた「石丸 謙次郎さん講演」の時間で

す。私はよくNHKラジオ第一で毎週土曜日に放送の「石丸謙次郎の山カフェ」を聞いています。その優しいお声でいろいろな山のお話を聞いていると、とても心が落ち着いてきて「ゆっくりコーヒーでも飲みながら聞きたいなあ。」という気分になります。オープニングの会場の幕を

上げて、周りの山々のお話をするとところなど、もうラジオのオープニングの様でわくわくしました。65歳から始めたピアノ、墨絵などのお話をとても楽しく聞かせて頂き、本当に「NEVER TOO LATE」だと思いました。会場で著書も購入してサインして頂きましたよ！

本当のメインイベントともいえる「晩餐会」では、皆さま旧交を温めながら、楽しい時を過ごされていました。

ホストを務められた甲府 21 クラブの方々や、ともに汗を流された他の甲府のクラブの方々、本当にありがとうございました！ **カラオケで盛り上がる：右端・並木 真**



5月のOFYで収穫がありました

小口多津子

4年ぶり、先月5月20日にユース事業でのプログラム、オープンフォーラム・Y が開かれ、今年は、一日だけの日程で、四谷の YMCA 同盟会館で、23名の会場出席者、ZOOM 参加は22名の集まりでした。当日まで何回も企画や運営に時間をかけただけの成果が出されました。

ZOOM という力が大いに発揮されたのが、遠く北海道のワイズや報告者の熊本 YMCA リーダー会の報告。この北海道と熊本、山梨、栃木からの報告者ということで、4年前とは大いに違う中身になったことも、目から鱗でした。

八王子ブリテン編集長の山本英次さんが、ブリテン5月号に、今回ご自身が ZOOM の参加で記事を書かれましたが、それは今、話題のチャット GPT を学習されたことによる報告の仕方、その勉強ぶりには頭が下がりました。

私は、今回の一つ大きな収穫を感じたことを書かせて頂きます。昨年度にワイズと YMCA の協働企画のSDGs キャンペーン「Y's×SDGsYouth Action 2022」がありまし

た。全国で10チームが選ばれ、支援金も頂きました。これに選ばれた中央大学Yひつじぐもが「クリーンな街づくり計画」を目的する中で、環境問題(ゴミ)啓発運動とした活動を1年間してきました。まだ活動は続けられていますが、過去これまで3回ほど報告の場があって、毎回、1歩1歩と進んだ内容で、環境を考えることの幅の広さをその都度、教えられてきました。今回のOFYの中でもその報告がされました。

午後の部で「ひつじぐも」の発表が終えて、それに続く質疑応答の中で、八王子クラブ花輪会長が、「この活動をしていて、あなたがたは我々ワイズに、これから何をしたいですか」を質問しました。

その時のこれに対しての報告者の3年生大山 希さんの答えには、はっとさせられました。

それは、「ごみは集めると、大きな袋一杯のものに変わります。それをどう処分するか、また問題が一つ生まれます。処理は行政に頼りますが、このような処理の方法だけでなく、私達学生ではとても太刀打ちできないことがあります。行政との付き合いかた、頼み方です、これらにワイズの方の力を貸して欲しいし、教えて頂きたいです」でした。

これまでのユースアクションの報告会の中で、他のチームからこういう要望は聞いたことはありませんでした。思うとワイズは彼らに提供ばかりしていました。プログラムの案内、場の提供とか資金の援助、など。ですから、大山委員長のこの日の発言の「ワイズの力を借りたい」との要望やお願い、このことはとても新鮮さを感じました。ワイズと学 Y が、ずっとこれからも関係を続けるとはこういうことなのですね。日頃の功が奏して、第26回東日本区大会で、わが東京八王子クラブはユース事業 YIA 特別賞を頂きました。

松本数実さんプロフィール

1991年東京YMCA入職。英語専門学校附属部随員。
1994年香港アジア太平洋YMCA同盟インターン、帰国後、山手センター、英語専門学校、コミュニティカレッジ、東陽町コミュニティセンターを経て、埼玉YMCA統括として勤務。2007年よりニューヨーク、フロストバレーYMCAへ出向され、帰任後、東京YMCAインターナショナルスクール主任主事を歴任。現在、国際事業部随員に至る。趣味は40年以上続けている山登り。

広島出身のカープファン。

家族は妻、息子2人(長男は2年前に就職して独立。次男は大学4年で山手学舎在住)

今月の聖句によせて (2023年6月)

「自由学園には先生はありません。おとなも子どもも、みなお互いの長所を学びましょう。ただひとり、ここに変わることはない先生があります。それはキリストです。

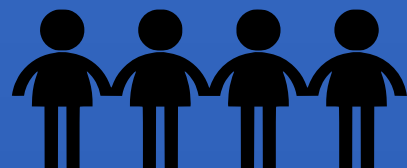
みなさんは、今は決してそう思っていないでしょう。自由学園においては、言論、思想、信仰、その他何事についても、個人の自由を尊重します。われわれの知恵も、力も、信仰も、その自由をもってする研究の錬磨からのみ生まれてくるからです。

しかしわれわれの行動には、かならず今もっている立場がなくてはなりません。自由学園の今もっている立場は、すでに明らかにしてある通り、キリストに従っていこうとすることです。

この立場をもとにして、われわれは最も自由に思考し、研究し、経験していきましょう。」

羽仁もと子先生が自由学園の開校にあたって、わずか26人という少数の少女たちを前にして述べられた言葉だということです。少女たちの無限の価値を尊び、ともに交わり、真の人間へと成長していこうとする誠意が伝わってきます。人間にとってなにより大切なものは自由であること、この自由をもって神と人々に仕える人生をこそ、価値あるものとした羽仁もと子先生にあらためて学びたいものと思います。

並木 信一



台湾・高雄ポートクラブとの交流

久保田貞視

コロナ禍の丸3年間、アジア・パシフィック大会や国際大会が無く、IBC 交流は専らメールでの相互の活動報告を交換しているだけでした。3月の台湾・台北でのワイズ創立100周年記念大会に出席しようと思いましたが、台湾サイドでのコロナ検査で陽性となる恐れがあり断念。実際には心配することがなかったが。

その間、IBC の高雄ポートクラブの張弘氏よりは高雄高等学校の 100 周年記念式典が高雄市内で開催され、姉妹校の八王子東高校の校長以下教師、生徒が訪問、一方、東京でも開催され、高雄高校の代表の一人として参加した張弘氏の友人、段ドクターと新宿のホテルで会い、張弘よりの近況を聴取し、ワイズ100周年記念大会の記念品をいただいた。

また、今年4月、八王子・台湾友好交流協会の黒須理事長が台湾産のパイナップルを八王子市内の中学校に配布したことも八王子市の広報に掲載され、それを張弘氏に送付し、現地でも報告された。来る7月には同友好交流協会設立 10 周年記念事業として、映画「KANOO」(戦前、台湾の嘉義農林高校が甲子園で準優勝になった実話の映画化)をいちようホールで放映する。クラブとしての直接の交流はなかったが、IBC では当クラブの毎月のブリテンをよく読んでおり、コメントをいただいている。今後とも国際大会やアジア・パシフィック大会には出来るだけ両クラブのメンバーが参加して対面での交流をして行きたいものです。



台湾

ユース担当を終えて

長谷川あや子

2019～2022 年度の4年間(ユース担当)をいたしました。振り返れば、ひつじぐもの委員長一川村 拓さん、渡辺伊純さん、関口 遼さん、大山 希さん、副委員長の森脇啓心

さんとは細やかにお付き合いさせて頂きました。

2020 年から 2022 年の3 年間はコロナ禍のため対面での交流が全くでき

ず、せっかく培っ

てきた中 大学Yひつじぐもと八王子クラブの交流も途絶えてしまうのかしらと不安になったこともあります。渡辺さん、関口さんの委員長が連絡、報告を丁寧にして下さったお陰でそんな不安は消え、むしろ信頼関係が築けたのではないかと思います。渡辺さんとはとうとう一度も直接お会いすることはできませんでしたが、他大学とオンラインで活動している様子を知り頼もしく感じました。関口さんは八王子クラブのハイブリッド例会で「コロナ禍における学生生活」という卓話を Zoom でして下さい、という状況下でも創意工夫できることを私たちも実感しました。そして2022年夏、久しぶりに IYC が再開されて伊藤さんと峯尾さんを八王子クラブから推薦することができました。関口委員長のスピーディーで的確な対応のお陰だと思います。こうしてだんだんと日常が戻りつつあり、今年はどうしても「新入生歓迎草刈り&BBQ」を再開したいと思いました。9月第二例会で提案、了承され準備が始まりました。日程は5月24日の例会を「新入生歓迎草刈り&BBQ」の日とし、5月担当のC班と共にプログラムを詰め、ひつじぐもに参加を呼びかけました。当日の草刈りの手順、BBQの食材のことなど菅野館長のお力がある準備も整い、あとはひつじぐもから何人の参加があるか期待と不安の中で連絡を待ちました。21名の申し込みがあったのは嬉しかったです。4年ぶりの開催ですので全員が新入生歓迎の対象でした。オリエンテーションは並木班長の進行の下で進められ、参加者紹介も和やかで、一気に打ち解けました。稍をわたる爽やかな風に吹かれ、皆で協力して草の始末をし、美味しいBBQに笑顔がはじけた一日でした。これからもワイズとひつじぐもの交流が末永く続きますように心から祈っております。

わくわくビレッジ便

担当主事 菅野 牧夫

5月の例会は晴天にも恵まれ、ひつじぐもの若い人たちと楽しい交流の時を持たせたことに、喜びを感じています。ありがとうございました。わくわくビレッジでは4月より2名の新しいスタッフが加わったことはブリテンでもお伝えしましたが、落ち着いてまいりましたのでご挨拶をさせていただきます。お覚え頂き、わくわくビレッジへお越しの際は声をかけていただければ幸いです。よろしくお願ひいたします。

寒川真琴(事務局長補佐)

八王子ワイズメンズクラブの皆様、いつも東京YMCAにお力添えいただき心より感謝申し上げます。4月から財団より出向でまいりました。1990年に奉職し、ウェルネスセンター、専門学校、地域センター、ホテル、保育園、殆どの現場で事務方として経験を積んできました。自宅が高幡不動なので高尾へは車で通勤していますが、車を降りて爽やかな風や木漏れ日からの鳥達のさえずりに身を包まれる瞬間、自然に笑顔になり、すべてのことへの感謝と力が湧いてくる喜びを感じています。小さな力ではありますが「今をありがとう」を忘れず、神様から与えられた使命と役割を日々考えながら歩んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

山添慈(プログラムスタッフ)

4月から高尾の森わくわくビレッジに来ました山添と申します。昨年度まではぐんまYMCAにて、キャンプや定例活動を主に担当していました。趣味は登山で、群馬の山をいろいろと登っていたので、高尾の山々も登る予定です。高尾の森わくわくビレッジは豊かな自然に囲まれ、老若男女問わず様々な方が集い、豊かな体験ができる素敵な場所であると感じています。プログラム担当として、利用される方がより良い体験をする一助となるように、ぐんまYMCAでの経験を生かし質の高いプログラムを提供していきたいと思っています。

草刈りに励む菅野所長



ひつじぐも便

みさわこどもまつり

ひつじぐも 3年 藤岡泰河

ひつじぐもは、5月20日に日野市にあるみさわ児童館という場所で「みさわこどもまつり」というイベントに参加しました。主な活動内容は、スライム作りやストラックアウトといった全10種類を超えるゲームやものづくりのコーナーでそれぞれ訪れた子供達に受付や補助を行い、祭りを盛り上げたり異世代交流を図ったりするものでした。私は、くじ引きの担当につき、ひっきりなしに120名もの子供を相手しました。急遽、景品の補充をせざるを得ない状況になるなど大盛況で終わることができました。

当初、私はこのようなイベントに初めて参加した、コロナの影響でイベント自体にブランクが生じていた、その日は雨が降っていた等の要因によりイベントを成功させられるか不安でした。しかし、このような不安は全て杞憂に終わりました。これは、「久しぶりのイベントを失敗させたくない」というみさわ児童館の思いと、「数少ない機会を大切にしたい」という私たちの思いが一致したからではないかと考えられます。

私は、このようなイベントは疎かにしてはならないと考えました。なぜなら、このようなイベントは機会が非常に限られており、次回の開催が遠い先になってしまう可能性もあると考えたからです。現在、私は3年生であるため、積極的に参加できる時期も限られています。4年生になれば、就活などに追われることになりどうしても不参加にならざるを得ない状況に直面することが考えられます。そのため、徒然草の「ある人、弓射ることを習ふに」の教訓のように「次があるから」と思い込むことなく1回1回に全身全霊を注いで取り組みたいと思いました。

今回は無事に成功させることができましたが、コーナー開始前の齋藤氏の「1等なら1~4等の中から、2等なら2~4等の中から選べるようにしよう」という斬新な提案が印象に残っています。以降、このような提案ができるように努めたいと思いました。



東京YMCA 近況報告 6月

1. 4月28～30日、山中湖センターにて「キャンプディレクター研修会」を実施した。東京YMCAの野外、健康、保育等の分野の職員に加え、横浜、埼玉、茨城、同盟の各YMCAからの参加もあり、22名が実践的な学びの時を持った。
2. 東京ーフロストバレーYMCAパートナーシップの夏キャンプのリーダーを全国YMCAから募集し、東京、京都、埼玉の各YMCAから計4名のユースボランティアを派遣することになった。6月12日に渡米し、約2カ月にわたり現地のキャンプでキャンプカウンセラーとして活躍する予定。なお、フロストバレーYMCAは、3月に Jerry Huncosky 氏から Riel Peerbooms 氏に総主事が交替した。
3. 6月16日より、夏季キャンプ・スクールの受付を開始する。昨年度よりプログラムを増やし、9つの宿泊キャンプの他、デイキャンプ、水泳、語学、カルチャーなどの各種プログラムを準備している。今回もフレンドシップファンドを活用し、経済的に困難なご家庭には所得に応じて参加費を援助する。
4. 今後の主な行事日程
・「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン):9月16日～23日
チームウォーキング(オンライン):9月23日～10月1日
チームレース(都立木場公園):9月23日



山中湖から富士山を望む



中里所長と並木真次期会長

(報告)

1. 中大ひつじぐも新入生歓迎会(草刈・BBQ)報告

5月27日(土)10:30より、高尾わくわくビレッジで開催。ここ10数年来実施してきたのをコロナ禍の為、過去3年間中止せざるを得ず、本日、初夏の太陽が照り付ける中4年ぶりにひつじぐも18名を迎えて実施。並木信C班班長の緻密な計画と長谷川ユース担当との協力で有意義なひつじぐも新入生歓迎会となった。ひつじぐも大山委員長の話では今春の新入生の入部は80名と頼もしい。

(出席者)

(ゲスト・ビジター) 田中博之(多摩みなみ)、
衣笠輝夫(埼玉)酢屋義元(元会員)

(ひつじぐも)

1年生—浅井徳花、榊田雄吾、佐々木翔太
2年生—青山真之介、石田千尋、遠藤愛美、折原美結
草山慶一、小林大輔、瀬戸省吾、田中胡暖、
藤原直輝、山本幸祐
3年次—大山希、高木義仁、本多有喜、森脇啓心、
4年次—関口遼
八王子クラブ—小口、長谷川、菅野、花輪、久保田、
並木信、並木真、大久保、山本、
計 30名

2. 第2例会報告

- ・花輪会長—6月3日～4日 東日本区大会
6月例会は6月24日(土)18:00～子安市民センター
 - ・次期並木真会長報告
 - ① 7月よりの会場設定
北野事務所とする。食事は無し。早めに閉会。
 - ② 来春のチャリテイコンサート
3月9日(土)、会場は北野市民センター
会場は花輪ワイズが予約する。演奏家は奈良原繭里さんに依頼。(久保田)
 - ③ ひつじぐもとの協働
浅川及び北野駅周辺のごみ拾い
 - ④ 2月の評議会の会場—東京みらいメッセもしくは高尾わくわくビレッジとする。
 - ⑤ クリスマス例会—早めに予約する。12月第2土曜日9日が予約済みの場合は16日とする。
- (出席者) 小口、長谷川、菅野、花輪、久保田、
並木真、大久保、山本、並木信 9名

6月のお誕生
該当者なし

特集

ひつじぐも新歓バーベキュー

⇒ 5月27日(土) 午前10時30分～

開会挨拶：花輪会長

皆さん、こんにちは。まずはじめに、ひつじぐもの皆さん、そして特に先月入学された新入生の皆さんを心から歓迎します。本日は、八王子ワイズマンの宝物であるひつじぐもの皆さんを対象にした例会ということで、皆さんと一緒に楽しい時間を過ごしたいと思います。また、私たちワイズマン全体でも取り組んでいる「ウィーク4」という活動の一環として、環境を良くするための取り組みを行っています。八王子クラブとしては、今回のわくわくビレッジの草狩りを通じて、環境の問題について一緒に考える機会を設けました。さらに、この後はひつじぐもの若い皆さんのエネルギーをワイズマンのおじさんおばさんが吸収するバーベキューの会が待っています。盛りだくさんの例会となっておりますので、どうぞ楽しみにしてください。私たちの気持ちを汲んでくれていること、そして神様がこんなに素晴らしい天気を与えてくれたことに感謝しつつ、皆さんと一緒に喜びたいと思います。最後に、本日の例会が皆さんにとって有意義な時間となり、新たな交流や思い出が生まれることを願っています。どうぞ楽しんでください！ありがとうございます。



中央大学ひつじぐも 挨拶：大山 希さん

ひつじぐもを代表して大山さんにスピーチを。



今日は遅れてしまってますみません。ひつじぐもを代表する大山 希と申します。今日は3年ぶりということで、とても楽しみにしていました。天気も良くて本当に良かったです。新生は今年1・2

かった

年生を中心に結構人数入りしました。80人くらい思ったより入ってくれて、めちゃくちゃ嬉しいなって感じているので、よりボランティア活動に活性化をもたらせるようにいきたいなと思っています。よろしくお祈りします。

衣笠輝夫様の言葉



こんにちは初めましての方もおられると思いますけれども YSF (Youth Support Foundation) クラブそして埼玉 YMCA の衣笠輝夫と申します。ブリテンでその中に「オープンフォーラム Y」

が書いてありますけれども、先週「オープンフォーラム Y」がありまして中大学 Y のユースアクション、大山希さんと森脇啓心さんと関口遼さん 3 名の方から素晴らしい報告をいただきました。その質疑応答の中で中大学 Y と東京八王子クラブの最初の接点の質問が出ました。それについて久保田さんから説明があったんですよ。人によって繋がっていること、東京八王子クラブが募金をやっていた。エルサルバドル大地震の募金を八王子駅前やっていて、たまたま中大の柳原さんがそこを通りかかって少し話をしてそれがきっかけとなってずっとこれまで続いてきているですから、やっぱり人のつながりが大切なのと、それから双方でそのつながりを大切にする気持ちがあれば、このようにずっとつながってくる。そういうことを思われました。私の学 Y は 10 ヶ月なんです。その後東京 YMCA でリーダーをやっている、そのリーダーをやっていた時のディレクターが並木信一さんということで、その時、私はすごく何も考えないでやっていて、心酔かけたと思いますけれども、社会人になってからですね。その当時は YMCA は全く眼中になかったんですよ。だけど、社会人になってから後で色々支えてくれているかばって来ていた。いろんなことが分かりまして、そのことがきっかけで YMCA に戻りました。YMCA に戻ってまたワイズメンズクラブに入ってそのきっかけを恩返ししたいな、というのが一つ動機が今になっているということで、たまたまユース事業ということで責任を持っています。AYC、ネパールも 8 月にあるんですけどもその募集もしていますので、また後ほどそのアナウンスもしたいと思います。

田中博之様のお話



1.今週の土・日に東日本区甲府大会があるが、まだ受付可能であり、登録は今日行える。隣町のような雰囲気でするので、是非参加してほしい。

2.11月に香港でアジア太平洋地域大会があり、格安で参加できる。大会委員長として、皆さんの参加を呼びかけている。

3. 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイルクラブが合併し、新しいクラブ「東京多摩スマイルクラブ」になる。将来的に他のクラブとも統合し、大きなクラブを目指す考えである。

4.

皆さんのお話は、ChatGPT による要約です。

寄稿

新入生歓迎草むしり & BBQ

中大ひつじぐも 経済学部 3年 森脇啓心

「草むしり BBQ をやる」

そう聞いたのは春ごろの例会であっただろうか。聞いた



ときは少し驚いたが目を輝かせて開催を望むワイズの方々を見るとそれは緊張に変わった。に



「いつあしくじれないぞ…」
まるで気分は初めて人を殺すときのマ



ル・コルレオーネだ。なんて適当なことを思いつつ、実はそこまで心配ではなかった。元来ボランティアサークルに入りたい大学生は多い。就活のためであれ、自分のためであれ人間は根源的に善行を積みたいと心の奥底で思っている。どんな暴君



であろうがクモの巣に絡まる蝶を助けるぐらいのことをしていただろう。

その思惑通り今年の新入会員は70人近くに上った。そして満を持して募集をかける。参加表明をしてくれたのは25人。そこから本番までに数人減ったが、当日は20人程度の人に参加した。私も夜勤明けの眠たい目をこすりながら集合。しかし、いきなりトラブル。私のミスにより集合場所がうまく伝わらずバスを逃してしまう。何とかバスに乗れた私を含め3人だけが先につくことに。

「またやっちゃったな。いつもこうなんだよな」



と一人反省しつつバスに揺られ到着。今回の会場には初めて来たが充実さには驚いた。学校の

面影を残しつつも新しい施設として生まれ変わったその姿に私はなんだか哀愁を感じた。私の家の近くにも同じように小学校を改装した施設が存在するが言ってしまうと少子化の象徴でもある。日本の未来を考え少し暗い気分になる。

と、遅れてようやく皆が集合。挨拶もそこそこに落ち葉



拾いが開始。落ち葉いなんて高校の奉仕活動以来だ。あの奉仕活動にはいったい何の意味があったのだろう。あの時の先生も

理不尽に怒ってたし。私は高校の先生というものに対してある種の嫌悪感を抱いている。高校の先生が先生というにはあまりにもな人たちばかりであったからだ。生徒の目の前で喧嘩する先生、生徒の夢を否定する先生。もち



ろん尊敬に値する先生もいたが。

しかし熱い。日本の四季はどうなってしまったのか。

そんなこんなで落ち葉拾いは終了。ようやく BBQ へ。今回

は何と言っても具材の豪華さに目が行った。たくさんの肉に白いごはん。私は焼くのもそこそこに食べることに集中。うまい。汗を流した後の肉はたまんねえなあ。皆もそれぞれの班で楽しそうに食をほおぼる。コロナのあれこれがあったけど、またこうやって活動できるようになっ

たのはうれしい。そんなことを考えながら無事BBQは終了。

こんなに楽しかったのだからまたやりたい。いや、ここで断言しないのは日本人の良くないところが出てしまっている。来年もこのBBQを行うと宣言して終わりとさせてもらおう。



高尾わくわくビレッジ・ひつじぐも新歓バーベキュー

参加者 総勢 30名

2023・5・27 快晴

